



Motorcycle Federation of Japan
FIM/FIM ASIA affiliated federation



平成27年8月24日

MFJ公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

ロードレース委員会

全日本選手権 ST600クラス計時予選方法の変更について

本年より、ワンメイクタイヤ制度を実施し、使用セット数を予選/決勝を1セットに制限したが、予選においてタイヤ温存のため、走行周回数が少なく、参加者、観客より不満の声があり、選手アンケート（第2戦AP大会時ARTまとめ）結果も考慮し、予選の在り方、観客アピールの視点から、筑波大会より、新たな予選方式を導入いたします。

● 予選方式

計時予選を、Q1、Q2の2部構成とし、インターバルを含めた一連の予選方式に変更する。

タイヤ使用本数制限は、予選、決勝ドライタイヤ1セットコントロールは維持する。

予選 フォーマット

Q1計時予選15分間 – インターバル（10～15分） – Q2計時予選15分間

● 内 容

- ・参加者は、Q1およびQ2計時予選に参加しなければならない。
 - ・Q1は全車走行し、Q1の結果にて、1位～12位をAグループ、13位以下をBグループ組に分ける。
 - ・インターバル（10分から15分は施設によって設定される。）
 - ・Q2は全車走行し、Q2の結果によって、決勝スターティンググリッドを決定する。 ※1
 - Aグループの選手は、予選1位～12位のグリッドが決定 ※2
 - Bグループの選手は、予選13位～最終グリッドが決定 ※3
- ※1 Q1に出走しない選手は、Q2へ参加できない。
- ※2 Aグループ選手が、Q2を走行できない場合はAグループの最終位グリッドとする。複数車両が存在する場合は、Q1の結果に基づき決定する。
- ※3 Bグループの選手が、Q2を走行できない場合Bグループの最終位グリッドとし、決勝グリッド数を超えるいる場合は予選落ちとなる。

●補 足

- ・予選基準タイムはQ1のトップタイムを適用する。Q1で予選基準タイムに満たない場合、Q2の走行が許可され、Q2において予選基準タイムをクリアすればピットスタート等審査委員会決定のスタートが出来る。（予選落ちがある場合はQ2を走行することはできない。）
- ・リザルトは、Q1結果、Q2結果、総合結果で構成される。罰則、抗議はすべて予選終了後とする。
- ・予選中およびインターバル中に、安全の理由以外での転倒車両の回収は行わない。
- ・何らかの理由によりQ2セッションが行われなかった場合、Q1の結果でグリッドが決定される。